

## 教職員の多忙化の現状（抽出調査より）

全ての校種で時間外勤務の状況が発生  
特に、中学校では1日3時間03分  
休業日においても、中学校・高校では  
2時間以上の在校時間が発生（部活動  
等）小学校でも1時間6分の在校時間  
残業の内容は学級・学年事務と教材研  
究が大半  
大半の教員は、持ち帰りの仕事も毎日  
ある状況が継続

## 教職員の多忙化解消アクションプラン

～教職員が元気に児童生徒と向き合う時間を確保するために～

### 多忙化解消に向けたアクション（全体プラン）

- 1 行事の精選によるゆとりの創出（厚みのある行事に）
- 2 校務分掌の見直しや平準化（みんなで分担して）
- 3 効率的に子どもに力をつける教育実践（協力し合って）
- 4 部活動のあり方の改善（先生も子どもも休める日を）
- 5 教職員のメンタルヘルスケアの充実（心も健康に）
- 6 県・教育事務所・市町村教委の支援（全県をあげて）

## 岐阜県教育委員会の取組

通知文の発出  
平成19年度より通知文を発出  
H19.4.11 教職55号  
各種会議、研修会等での多忙化解消  
に向けた指導  
勤務実態調査の実施（H19～H23）  
各学校における退校時間の管理  
各種メンタルヘルス事業の拡充  
学校訪問による勤務状況の把握

### 行事の精選とゆとりの創出

子どもに真に必要な行事の精選  
前年度の課題を明確にした、無理  
のない準備と計画  
行事マニュアルの共有化による事  
務負担の軽減



### 効率的に子どもに力をつける教育実践

研究授業等の効率的な運用  
研究内容の焦点化で授業を見る観点を明確に！  
指導案の簡略化と事前研・授業研の効率化  
教材の共同開発と共有化  
みんなで開発し、みんなで使う教材へ  
無駄な掲示物は作らない<真に必要な掲示のみ作成>

### 部活動のあり方の改善

部活動実施日及び時間の管理  
複数顧問制による指導の分担  
外部指導者と連携した指導  
部活動休養日の完全実施によるゆ  
とり創出



教職員全員がチームとして「協働」できる職場  
「教職員の元気」が「子どもの元気」に！

### 教職員のメンタルヘルスケアの充実

管理職による退校時間の厳正な管理と  
指導（ノー残業デーの実施）  
メンタルヘルスケアにかかる研修会の  
充実（ストレスチェック等の実施）  
メンターチームの活用による相談体制  
の充実（頼りになる先輩の存在）  
楽しい親睦会行事運営



先生の笑顔が子どもの笑顔に！

### 校務分掌の見直しや平準化

校務分掌見直しによる合理的な協議と運営  
会議の精選と運用方法の見直しによるゆ  
とりある放課後の創出  
出張の見直しによる指導時間の充実  
地域の学校応援サポーターの協力による  
教職員の負担軽減

### 県・教育事務所・市町村教委の支援

通知文及びスリム化チェックリストに  
よる自校診断  
調査依頼・提出文書等の厳選による負  
担軽減  
各種研修会を通した多忙化解消にかか  
る指導の継続  
多忙化解消推進校の指定  
（県内12校を指定）



楽しい学校をみんなの力で！